

浜岡原子力発電所 防災訓練実施結果の報告について

2013年10月30日

当社は、本日、原子力規制委員会に防災訓練実施結果報告書を提出しましたのでお知らせします。
これは、原子力災害対策特別措置法第13条の2第1項の規定に基づき、当社が2013年9月5日に実施した防災訓練の実施結果について、原子力規制委員会に報告するとともに、公表するものです。

本日提出した防災訓練実施結果報告書の要旨は、別紙のとおりです。
今後も継続的に訓練を実施し、対応能力の強化を図ってまいります。

別紙「浜岡原子力発電所 防災訓練実施結果報告書」の要旨について

以上

「浜岡原子力発電所 防災訓練実施結果報告書」の要旨について

防災訓練実施結果報告書の要旨については以下のとおりです。

1. 対象期間

平成25年4月1日～平成25年9月5日

2. 緊急時演習（総合訓練）

防災訓練実施年月日	平成25年9月5日
参加人数	1,162名
防災訓練のために想定した原子力災害の概要	大規模地震および津波を起因とする全交流電源喪失事象、さらには原子炉冷却機能喪失による原子力災害対策特別措置法第15条事象に至る原子力災害を想定
防災訓練の内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 通報訓練 (2) 避難誘導訓練 (3) モニタリング訓練 (4) 対策要員の動員訓練 (5) 緊急時操作訓練 (6) 電源機能等喪失時対応訓練
防災訓練の結果の概要	<p>以下について確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練の内容について、原子力災害の発生時に対策組織および対策要員が災害対応を実施できること ○緊急時対応センター（E R C）、本店対策本部、発電所対策本部およびオフサイトセンター間を統合原子力防災ネットワークで接続し、情報共有できること ○新たに導入した以下の対策・設備が、いずれも有効に機能していること <ul style="list-style-type: none"> ・緊急用移動式大容量送水システムを用いた水源確保 ・ロープ式水位計を用いた燃料プールの水位・水温の代替監視 ○これまでの訓練から以下の改善を図り、いずれも有効に機能すること <ul style="list-style-type: none"> ・シミュレータ室（模擬の中央制御室）と発電所対策本部との連携不足に対して、発電所対策本部からシミュレータ室へ派遣させる連絡要員を早い段階で確保し、連絡体制を整える改善 ・緊急時対策所の空調切替が速やかに実施できるように切替基準の明文化 ・現場の復旧対応におけるタイベックスーツへの記名の指示および確実な実施

今後の原子力災害に向けた
改善点

以下の改善点を抽出した。

- 発電所対策本部の運営において、原子炉主任技術者等が技術的助言をする場面が少なかったこと及び情報量が多い状況でプラント情報等の整理に苦勞する場面が見受けられたこと
- 本店対策本部との連携において、本店への報告を発電所本部長がすべて実施しており、また本店からの指示に基づき本店報告を30分毎に実施しているなど、発電所本部長の負荷が大きいこと
- 通報連絡において、通報先へのFAX送信は15分以内に実施できたが、着信確認は15分以内に実施できなかったこと、また、衛星携帯電話を使った通報連絡では、通話中に途切れる・聞き取りにくいといった場面があったこと
- 全交流電源喪失後の現場の復旧対応において、現場復旧対応要員へ放管装備装着の指示を出し、タイベックスーツおよび全面マスクを装着した訓練を実施したが、中央制御室の運転員への放射線管理について明確になっていなかったこと
- 原子炉建屋大物搬入口からの避難において、原子炉建屋大物搬入口の水密扉を閉めて避難することはできたが、その開閉状況の確認が発電所対策本部で実施されなかったこと
- ヨウ素剤の配布・服用にあたって、一人ずつ事前問診を行ったが、災害対応をしながらの間診は時間がかかりすぎる
- 緊急時対策所の空調切替において、手順書の確認不足による出入口扉の施錠忘れ等があったこと
- 今回訓練シナリオに取り入れなかった放射性物質の放出を想定した環境モニタリングや発電所構内行方不明者の発生を想定した安否確認を含めた訓練計画の立案

(参考) 要素訓練の実績 (※)

訓練内容		訓練回数	延べ参加人数	防災訓練の概要
①モニタリング訓練		計5回	15名	全交流電源喪失時に継続的な環境モニタリングを行うため、簡易測定装置等を用いた実動訓練を実施
②緊急事態支援組織対応訓練		計1回	9名	訓練実施場所までのロボット搬入や、ロボットの操作等の実動訓練を実施
③電源機能等喪失時対応訓練 (抜粋)	炉心損傷防止に係る訓練	計106回	678名	原子炉への代替注水ライン作成における操作対象弁等の現場確認および操作手順の確認を実施
	使用済燃料冷却確保に係る訓練	計36回	214名	使用済燃料プールへの代替注水ライン作成における操作対象弁等の現場確認および操作手順の確認を実施
	原子炉格納容器除熱機能確保に係る訓練	計28回	182名	原子炉格納容器ベントラインにおける操作対象弁等の現場確認および操作手順の確認を実施
	水源確保に係る訓練	計60回	569名	原子炉および使用済燃料プールへ注水するための水源確保に係る操作対象弁等の現場確認および操作手順の確認を実施 また、緊急用移動式大容量送水システムによる取水・送水等の実動訓練を実施
	電源確保に係る訓練	計5回	87名	災害対策用発電機から給電するためのケーブル接続等の訓練を実施

※：要素訓練とは、災害時に対応する様々な項目について、緊急時演習（総合訓練）とは別に、対応項目ごとに技能習熟・対応能力向上を図るために実施する訓練で、訓練回数は、平成25年4月1日～平成25年9月5日に実施した訓練回数。